

# Paris 特集!

7月26日パリオリンピック・パラリンピック開幕です。  
パリに行きたくなる♪  
行った気分になる♪  
パリを感じる本を紹介します!

## 『パリと本屋さん』

パリュス あや子/著・写真  
エイチアンドエスカンパニー  
請求記号: 024.3



パリ在住の日本人作家による、本屋めぐりと生活エッセイ集。移民独自の視点で描かれたフランスでの暮らしと、書店インタビューに加え、書き下ろし小説「Yousra」も収録されています。

## 『パリでしたい100のこと 大好きな街を暮らすように楽しむ旅』

荻野 雅代・桜井 道子/著  
自由国民社  
請求記号: 293.5



憧れの場所、パリの日常、街角のアート、パリジャンが好きなガレット、宝箱のような雑貨屋さん、ため息ものの美術館…。パリで暮らすように楽しめる、とっておきの100スポットを、豊富なカラー写真とともに紹介します。

## 『もっと塩味を!』

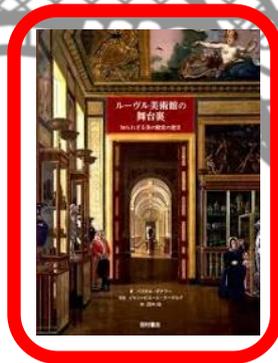
林 真理子/著  
中央公論新社  
請求記号: 913.6



和歌山の裕福な家庭の主婦だった美佐子は、フランス料理に魅了され、家庭を捨てて東京に向かう。そこには運命的な出会いが彼女を待ち受けていた! フランス・パリでミシュランの星獲得の夢に生き、恋に生きた一人の女性の激しい生涯を描く、興奮必至の一冊です。

## 『ルーヴル美術館の舞台裏 知られざる美の殿堂の歴史』

パスカル・ボナファー/著  
ジャン＝ピエール・クーデルク/写真  
田中 佳/訳  
西村書店  
請求記号: 706.9



パリの美術館といえば、一番にルーヴル美術館を思い出します。実は城塞として建てられたルーヴルはどうやって今の姿になった? <モナ・リザ>の秘話とは? 作品の管理や展示の準備は? 宮殿、芸術品、美術品をもとに、ルーヴル美術館の移り変わりをたどります。カラー図版も豊富に掲載。